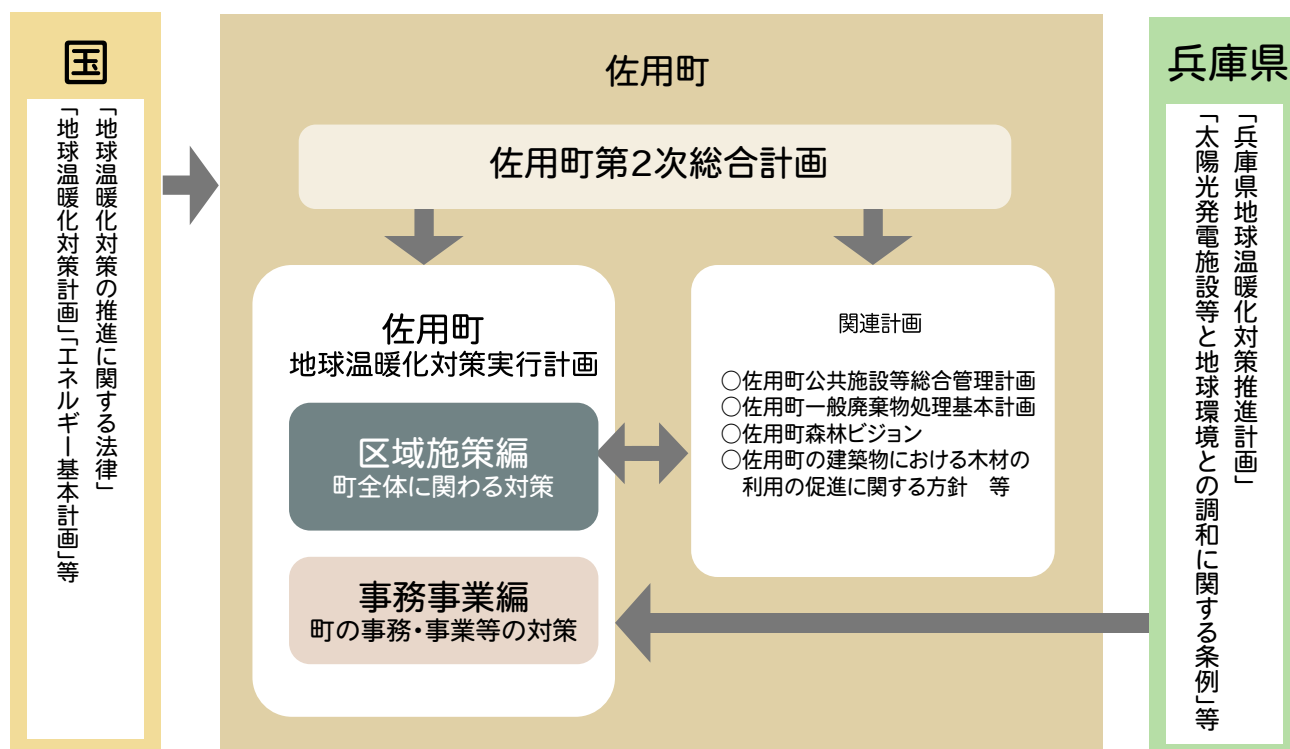


地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)《概要版》

計画の目的

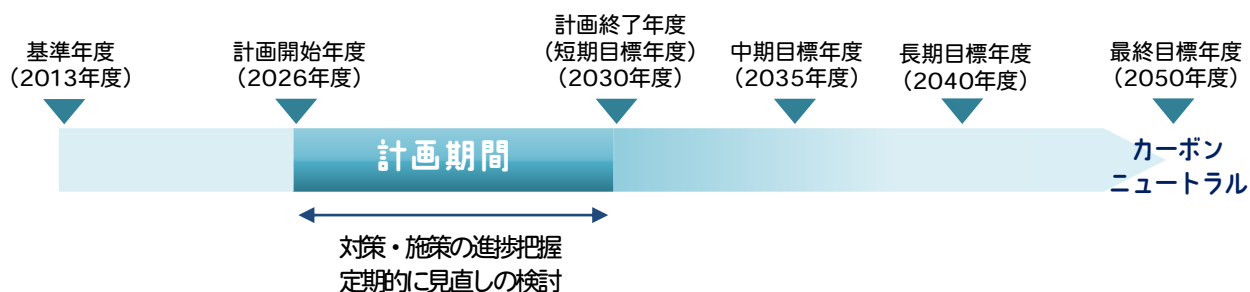
佐用町内から排出される温室効果ガスの状況を捉え、その量を削減する目標を定め、町民・事業者・町のそれぞれが率先して地球温暖化対策の取組を推進することを目的とします。

位置づけ



計画期間

基準年度は2013年度とし、計画期間は2026年度から2030年度までの5年間とします。



対象とする範囲、温室効果ガス

本計画の対象地域は、本町全域とします。対象ガスは、温室効果ガスは人為的排出量が多く、地球温暖化に対する影響が最も大きいとされている二酸化炭素(CO₂)とします。

温室効果ガス削減目標



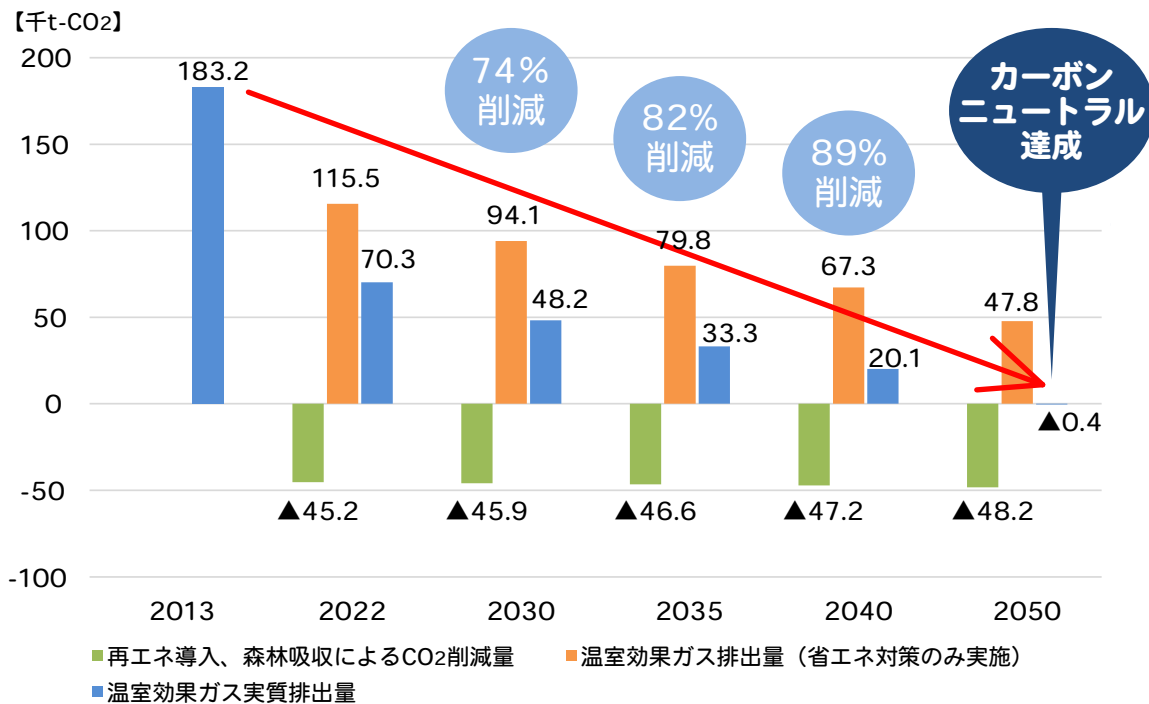
2050年度までにカーボンニュートラル達成!

2030年度までに**74%**削減

2035年度までに**82%**削減

2040年度までに**89%**削減

※いずれも2013年度比



再生可能エネルギー導入目標(太陽光発電設備の導入目標)



2030年度までに 328TJ(再エネ比率**15%**)導入

2035年度までに 335TJ(再エネ比率**16%**)導入

2040年度までに 343TJ(再エネ比率**18%**)導入

2050年度までに 355TJ(再エネ比率**23%**)導入



※「TJ(テラジュール)」とは、エネルギーの単位「J(ジュール)」を示し、TJ=10 の 12 乗のこと。

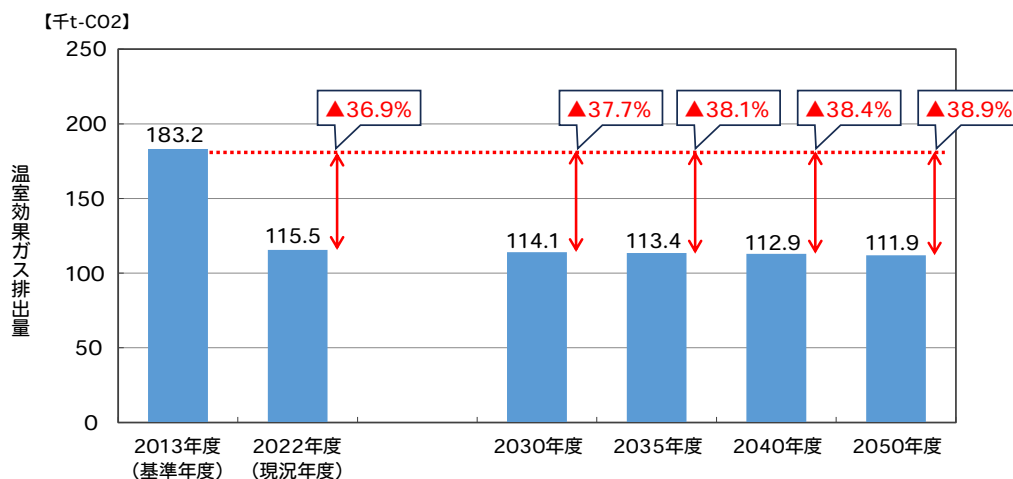
※再エネ比率とは、エネルギー消費量あたりの再生可能エネルギー導入量のこと。

温室効果ガス排出量は？

対策を行わない場合



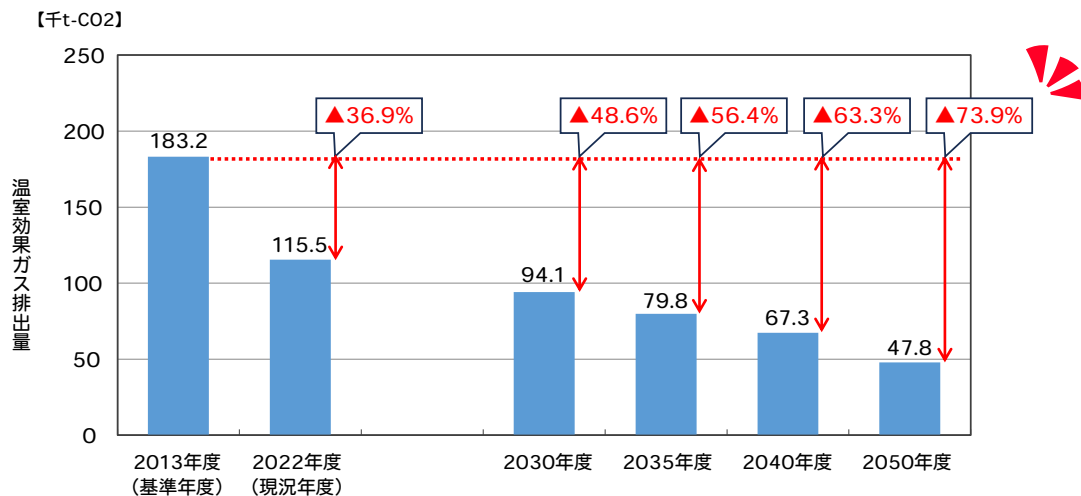
これまで、皆さんの省エネ対策等の実施により、現在、温室効果ガス排出量が2013年度比36.9%削減できました。しかし、このままの対策で追加的対策を行わなかった場合、2030年以降温室効果ガス排出量は削減が難しい見込みです。



対策を行った場合



皆さんで、更なる省エネ対策を行った場合、2030年度には温室効果ガス排出量が2013年度比48.6%まで削減でき、2050年度には73.9%まで削減する見込みです。



しかし！

省エネ対策だけでは、2050年カーボンニュートラルの達成は難しいため、太陽光発電設備の導入や森林整備による吸収量を確保していく必要があります。

2050年 佐用町の未来

わたしたちの2050年の未来は、省エネ、再生可能エネルギーの利用により、自然と共生した資源やエネルギーの循環が創出され、豊かで安全・安心な暮らしが実現しています。

環境付加価値が創出され、賑わいのあるまちになっています。

スマート農業・スマート林業により、農業・林業が活性化されています。

買い物や通勤、レジャーには電気自動車(EV)で出かけ、蓄電池を活用して電化製品を使用しています。

町民が利用するバスはデマンド化・EV化され、買い物などの移動手段として利用されています。



住宅や事業所の屋根には、景観に配慮した太陽光パネルが設置され、再生可能エネルギー由来の電力が使われています。

町民や事業者が「デコ活」の取組が定着し、脱炭素型ライフスタイルやビジネススタイルの暮らしをしています。

ごみの減量化や資源化が進み、資源が循環しています。

太陽光発電等の再生可能エネルギーにより、エネルギーの地産地消が実現しています。

「さようの自然・農林振興」の推進により、森林資源や水資源を活用し、豊かな自然と共生し、企業誘致や観光が振興しています。

2050年ロードマップ

現在

2030

2035

2040

2050

重点期間（脱炭素基盤づくり）

- * 温暖化対策に関する啓発
- * 省エネ強化（デコ活、省エネ家電等、ZEH・ZEV等）
- * 再エネ利用（太陽光など）、再エネ電力利用促進
- * EV購入促進、EV充電設備の設置拡大、公共交通の脱炭素化
- * 廃棄物の資源循環

- * バイオマス発電施設の導入検討
- * 環境付加価値の創出（収益還元等）

継続・拡大

- * 取組継続強化
- * 次世代太陽電池、蓄電池等の再エネ導入促進（ペロブスカイト、全固体電池等）
- * 技術革新の動向（水素、メタネーション、CCUSなど）

さようの自然・農林振興

- * 農林振興による産業活性化、雇用創出、移住・定住促進
- * 環境付加価値の創出により、持続可能なまちづくりの実現

技術革新

カーボンニュートラル

自然と共生、ひとと共創したカーボンニュートラルタウン さよう

～未来へつなぐ、持続可能な資源循環のまち～



基本目標と施策の方向性

脱炭素の基盤づくりに向けて5つの基本目標と基本的な取組を掲げ、それぞれに具体的な取組内容を設定し、計画を推進していきます。

基本目標 1

オールさよしの連携

- ① 知って、学んで、行動しましょう!
- ② 「デコ活」に取り組みましょう!
- ③ さよしの里地里山を守りましょう!
- ④ 脱炭素経営を目指しましょう!

基本目標 2

省エネの推進強化

- ① 省エネ家電・設備を選びましょう!
- ② 省エネ住宅・オフィスについて考えましょう!



基本目標 3

エネルギーの地産地消

- ① エネルギーを創って自分で使いましょう!
- ② 環境にやさしい電力を使いましょう!

基本目標 4

環境にやさしい交通

- ① エコドライブを実践しましょう!
- ② 環境にやさしい車を選びましょう!
- ③ 公共交通機関を利用しましょう!

基本目標 5

資源循環・経済循環

- ① 5 Rに取り組みましょう!
- ② 環境価値で経済を循環させましょう!



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※下線部は、2030年度までに重点的に取り組むものとします。

基本目標 1 オールさよの連携



具体的な取組	町民	事業者
■ 地球温暖化に関する情報や本計画の取り組み状況について、様々なメディアを活用して情報収集に努めましょう。	●	●
■ 「ひょうご環境体験館」のイベント情報を確認し、積極的に参加しましょう。	●	
■ 町が実施する環境学習や出前講座に積極的に参加しましょう。	●	
■ 自社で地球温暖化対策に関する勉強会を開催しましょう。		●
■ 「デコ活」に関する情報を「広報さよう」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。	●	●
■ 町が実施する森林勉強会に参加しましょう。	●	●
■ 森林整備の促進のため、原木を「木材ステーションさよう」へ持ち込みましょう。	●	
■ ロボット技術やICT等を活用したスマート農業、スマート林業の導入を検討しましょう。		●

基本目標 2 省エネの推進強化

具体的な取組	町民	事業者
■ 「うちエコ診断」や「省エネ最適化診断」に関する情報を「広報さよう」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。	●	●
■ 家庭や職場で使っているエネルギー（電気、ガソリン等）を見える化しましょう。（環境家計簿を作成しましょう。）	●	●
■ 家電を購入するときは「統一省エネラベル」を確認し、省エネ能の高い製品の購入を検討しましょう。	●	
■ 蛍光灯からLED照明への切替を進めましょう。	●	●
■ 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）の導入を検討しましょう。	●	●
■ 国や県、町の支援制度を活用し、ZEH やZEB、省エネリフォームなどを検討しましょう。	●	●
■ 遮熱対策（グリーンカーテン、ブラインド、庇、オーニングなど）を検討しましょう。	●	●

基本目標 3 エネルギーの地産地消

具体的な取組	町民	事業者
■ 設置可能な住宅や建物(駐車場含む)へ太陽光発電設備の設置を検討しましょう。	●	●
■ 太陽光発電設備の設置に合わせて、蓄電池の設置も検討しましょう。	●	●
■ 環境に良い電気(再生可能エネルギー由来の電力プラン等)を選びましょう。	●	●

基本目標 4 環境にやさしい交通

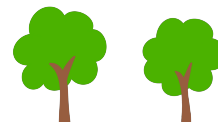
具体的な取組	町民	事業者
■ エコドライブを実践しましょう。	●	●
■ 自動車を買う際は、環境にやさしいエコカーを選択しましょう。	●	●
■ 通勤や買い物には、パーク&ライド、サイクル&ライドを活用するなど、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用しましょう。	●	●

基本目標 5 資源循環・経済循環

具体的な取組	町民	事業者
■ 本町の「ごみ分別アプリ」を活用しましょう。	●	
■ 5 Rに取り組み、ごみの減量・資源化を図りましょう。	●	●
■ 生ごみの水切り徹底や生ごみ処理機等の利用で、ごみ減量・資源化を行いましょう。	●	
■ 食品は必要な分だけ購入し、食品ロスを減らしましょう。	●	
■ 事業所における5 Rに取り組みましょう。オフィスペーパーの削減・リサイクルや、ごみの分別徹底、そして食品リサイクル法に基づく生ごみの資源化に努め、ごみの減量を図りましょう。		●

※ P.6～7「具体的な取組」項目は、一部抜粋しています。





具体的な取組施策

- ☐ 「デコ活」に関する情報を「広報さよう」やホームページ、インターネット等で収集しましょう。
- ☐ 環境に良い電気（再生可能エネルギー由来の電力プラン等）を選びましょう。
- ☐ 住宅、事業所、駐車場などの屋根等へ太陽光発電設備の設置を検討しましょう。
- ☐ クールビズ・ウォームビズを実践しましょう。
- ☐ 住宅や事業所等の建物の省エネ化（断熱性の高い窓・壁・屋根等）を検討しましょう。
- ☐ 高効率空調や高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）の購入を検討しましょう。
- ☐ 節水型機器（節水シャワー、節水型トイレ等）の導入を検討しましょう。
- ☐ 蛍光灯からLED照明への切替を進めましょう。
- ☐ 冷蔵庫は、省エネ性能の高い製品に買い替えましょう。
- ☐ エアコンは、省エネ性能の高い製品に買い替えましょう。
- ☐ 自動車を運転するときは、アイドリングストップや適正な速度での走行、急発進をしないなど、エコドライブを実践しましょう。
- ☐ 次世代自動車（電気自動車、プラグインハイブリッド等）への買い替えを検討しましょう。
- ☐ 近距離を移動するときは、なるべく徒歩か自転車を利用しましょう。
- ☐ マイボトル・マイバックを活用し、使い捨てプラスチックの削減に取り組みましょう。



佐用町地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 概要版(令和8年3月)

〒679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用3280番地238佐用クリーンセンター内
佐用町住民課環境衛生対策室 TEL 0790-82-0293
E-mail: kankyoeisei@town.sayoi.lg.jp